

# 議会だより

伊那市議会事務局

TEL 0265-968149  
FAX 0265-769117  
Email: gk@inacity.jp

Vol. 34

## 人口増進特別委員会の活動報告

4月に新入社員を意識について、5月に子育てについて、アンケート調査を実施しました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございます。皆様の声を実現すべく伊那市と県や国へ強く提言してまいります。アンケートの詳細は別途報告いたします。

7月28日～30日には、三重県鳥羽市、高知県四万十町、須崎市を訪れ、民間活力による地域の活性化策について学んでまいりましたので、報告いたします。

### 海島遊民くらぶ (三重県鳥羽市)

鳥羽市を拠点として、観光ツアーを企画・主催し、成功させている民間団体を視察しました。

午前中は答志島の「漁師町ラベンツツアー」を体験しました。船で島に着いたら、島の産業や暮らしが分かるよう案内をいただき、地元の方々とガイドさんの対話を聞くことができました。昼食は海女さんがつくる料理で、海女さんからは、昨日の漁の様子などもお話いただきました。その後、漁業組合や浜の海女小屋な

さんに後継者ができた。漁師になろうと島に帰ってきた若者がいる」とうれしそうでした。  
地域に貢献する観光ツアー会社だからこそ地元の皆さんが受け入れてくれていると感じました。

### 株四万十ドラマ (高知県四万十町)

(株)四万十ドラマは高知県、四万十川中流域 四万十町にあり、農林業や自然といった地域資源を徹底的に活用する「商社」として3億5千万円以上の年商を稼ぎ出しています。  
平成6年に旧3町村の第3セクターとして誕生し、約5年で黒字経営に。住民が出資する株式会社となりました。指定管理者として運営する道の駅「四万十とおわ」は、不利な立地ながら年間約15万人が訪れる人気スポット。人気の秘訣は、地域産品を使った自社商品のみを扱い、地域の女性たちが食堂で手作りするパイクングなど、「ここにしかない」魅力です。

午後2時間お話を伺いましたが「地域資源を守る、漁業者が減らないように観光ガイドを行っている。観光ガイドで1時間2000円なら観光で生活できる。ツアーは目的をはっきりさせ、目的が違う人が応募しないような工夫をしている。相手の要望をよく聞いてツアー内容を考える」とおっしゃっていました。

代表の江崎貴久さんは、旅館の女将もしているとのことですが、「ツアーで使っていたお寿司屋

ます。また、新聞紙を使った買い物バッグを普及させるなど、環境に配慮し、「最後の清流・四万十川」に抱かれた地域イメージを事業を通じて広げています。

公募で採用された現社長が営業に駆け回り、地域のデザイナーや農林業者が協力したことが成功の要因。「民間だからこそ、やりたいことができた」との担当者の言葉が印象的でした。



道の駅「四万十とおわ」

### 須崎未来塾 (高知県須崎市)

生を募集。1期生33名、2期生24名の応募があり意見交換を行っています。塾の継続を目指し、1期生の皆様にも通知をしているそうです。

また、高速道路の延伸で須崎市を素通りしないよう、「街全体がサービスエリア」構想で、市民みんなでおもてなしをすることを考えました。市では空き家バンクも紹介し、25年には10家族21名が移住、26年には16家族37名が移住してきました。空き店舗の紹介や、ゲストハウスなど須崎市に長期に滞在する取り組みも行っていました。

25年にはイメージキャラクターのカワウソ「しんじょう君」を生させ、経済効果3億円になったそうです。市では人口増に対し、色々な素晴らしい取り組みをしています。

須崎市は平成2年には人口3万人強、27年には2万3千人にまで減少しました。10年前に市民は「何もない須崎市」と言っていたそうです。新市長のもと「自分を守る」事を基本に「須崎未来塾」を立ち上げ持続可能な須崎作りを目指しました。塾で「学び、楽しみ、つながる体験をしませんか」をキャッチフレーズに塾



しんじょう君と記念撮影